

# 学習課題(中学校1年生) ④



## 【数学】

### ＜学習内容＞

数直線を基にして、減法の計算の仕方について考えてみよう。  
～加法と減法にはどんなつながりがあるだろうか～

### ＜取り組み方＞

- (1) 加法の式  $(+2) + (\square) = +5$  の  $\square$  に当てはまる数を求める式を考えよう。
- (2) 数直線を使って、 $(+5) - (+2)$  の計算の仕方を考え、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)
- (3) どの2数の減法でも(2)と同じように求めることができるか、いろいろな減法の式をつくって、数直線を使って計算してみよう。
- (4) 教科書P28のQに取り組み、その結果から気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。

### ＜学習のヒント＞

- (1) 小学校では、ひき算はたし算の逆であると学んだことを思い出してみよう。中学校では、ひき算のことを減法といいます。
- (2) 前回学習した加法の計算を数直線に表す方法を思い出して、(1)の式を数直線に表してみよう。  $\square$  の部分が減法の計算の結果になります。  
数直線への表し方に困ったときは、教科書P27の説明を読み、 $+5$ にたどり着くには、2回目の移動をどちらにどれだけ動けばよいかを考えてみよう。
- (3) 2数の符号の組み合わせ(同符号や異符号)のパターンをいろいろ変えて数直線を使って計算してみよう。  
どんな式をつくればよいか困ったときは、教科書P27の問3を考えてみよう。  
どのように考えればよいか困ったときは、教科書P27の例1を参考に考えてみよう。
- (4) 減法の式と加法の式を見比べて、変化しているところがどこか考えてみよう。